

廃棄物

環境センターへの期待は

循環型社会の推進に寄与



塩野入 猛 議員

「ちくま環境エネルギーセンター」は、公設民営の事業手法で運営・維持管理を行う特別目的会社「ちくま環境サービス(株)」により、24時間、20年間の焼却・運営業務を行う。

循環型社会の推進に寄与する施設としての役割

問 葛尾組合焼却施設は42年の歴史に幕を閉じたが、解体時期と費用は。また、後利用に坂城・千曲の2市町で建設の新リサイクルセンター構想があるが状況を問う。

本稼働が始まった「ちくま環境エネルギーセンター」の運営状況と期待することは。

町長 解体時期は令和6年度、費用は概ね10億円を見込んでいる。
新リサイクルセンターは、長野広域連合計画に位置づけ、7～8年度の建設を計画している。



本稼働した「ちくま環境エネルギーセンター」

を期待する。
農業振興

問 町の「農業支援センター」と「農業再生協議会」は、いずれも町の農業行政を推進する組織であり一本化の考えは。

また、食の安全、有機農法の考えは。

商工農林課長 一本化は、他市町村の状況を確認して検討したい。有機農法は簡単ではないので、今後の技術発展と普及に期待する。



中嶋 登 議員

設置補助金の増額を

増額を含め検討する

太陽光発電

問 町では住宅に太陽光パネルを設置すると上限

7万5千円の補助金が出る。中部電力で10年前は電気の買取り42円/kWhであったが、今では買取り値段が下がってしまい、17円/kWhになっている。

他市町村でも上田市7万8千円、青木村10万

円、長和町15万円、小川村20万円、飯綱町25万円の補助金が出ている。坂城町も倍の15万円にすべきだ。

企画政策課長 太陽光発電設備補助金の増額を含め、最も効果的な方策を研究・検討していく。

旧久保家住宅について

問 令和3年2月に久保家より御寄附いただいた。江戸時代火災に遭い、松代の真田の殿様より「松代藩の御山の木を



旧久保家住宅

好きなかだけ切って家を建てる」と云われた話も伝わっている。歴史的な建物であり、県宝に申請すべきである。

町長 町文化財保護審議会も「貴重な文化財建造物であり保存活用が望ましい」と言っている。びんぐしの里公園など周辺施設を含めた一体的な利活用を、関係機関と協議していきたい。
県宝への文化財指定については、県等関係機関と協議を進められればと考えている。